



コマンドライン インターフェイス (CLI) コマンド

Revised: July 25, 2008, OL-13676-03-J

目次

- はじめに (P.A-1)
- CLI セッションの開始 (P.A-2)
- CLI コマンドの基本 (P.A-2)
- CLI セッションの終了 (P.A-3)
- CTS の CLI コマンド (P.A-3)

はじめに

この章では、Cisco TelePresence System (CTS) の Command Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) コマンドの使用方法について説明します。

CLI セッションの開始

CTS の CLI には、リモートでのみアクセスできます。CTS に安全に接続するため、パーソナルコンピュータまたはワークステーションから Secure Shell (SSH; セキュア シェル) を使用します。

始める前に、次の情報を用意してください。

- CTS の IP アドレス
- 管理 ID とパスワード

この情報は、CTS にログインするために必要です。



(注)

管理 ID とパスワードは、Cisco Unified Communications Manager (CUCM) 稼働時に CTS デバイス ページでデフォルト値から変更できます。

CLI セッションを開始するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 リモート システムから、SSH を使用して CTS に安全に接続します。SSH クライアントで、ssh adminname@IP Address の形式で情報を入力します。

- adminname は、管理 ID です。
- IP Address は、CTS の IP アドレスです。

ステップ 2 パスワードの入力を求められたら、パスワードを入力します。

ステップ 3 CLI プロンプト (admin) が表示されます。これで、任意の CLI コマンドを入力できます。



(注)

プロンプトは常に「admin」です。

CLI コマンドの基本

- コマンドの先頭部分を入力し、**Tab** キーを押すと、コマンドの残りの部分が補完されます。
- コマンド全体を入力し、**Tab** キーを押すと、使用できるすべてのコマンドまたはサブコマンドが表示されます。**Tab** キーを押して、現在のコマンドラインが繰り返される場合は、追加の拡張コマンドはありません。
- 詳細なヘルプを表示するには、CLI プロンプトで **help command name** を入力します。
- 特定のコマンドのコマンド構文を表示するには、CLI プロンプトで **command name?** を入力します。

CLI セッションの終了

CLI セッションを終了するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 CLI プロンプトで、**quit** と入力します。

CTS の CLI コマンド

Cisco TelePresence システムでは、次の CLI コマンドが使用されます。

- [call answer \(P.A-5\)](#)
- [call end \(P.A-6\)](#)
- [call start \(P.A-6\)](#)
- [diag display loopback full disable \(P.A-7\)](#)
- [diag display loopback full enable \(P.A-8\)](#)
- [diag display loopback full status \(P.A-9\)](#)
- [set autoanswer disable \(P.A-10\)](#)
- [set autoanswer enable \(P.A-11\)](#)
- [set autoanswer external disable \(P.A-12\)](#)
- [set autoanswer external enable \(P.A-13\)](#)
- [set cert web \(P.A-14\)](#)
- [set display disable \(P.A-15\)](#)
- [set display enable \(P.A-16\)](#)
- [set logging disable \(P.A-17\)](#)
- [set output disable \(P.A-19\)](#)
- [set output disable \(P.A-19\)](#)
- [set output enable \(P.A-20\)](#)
- [set password admin \(P.A-21\)](#)
- [set security authstring \(P.A-22\)](#)
- [set upgrade camera \(P.A-23\)](#)
- [set upgrade disp-driver-1 \(P.A-24\)](#)
- [set upgrade disp-driver-2 \(P.A-25\)](#)
- [set upgrade display \(P.A-26\)](#)
- [set upgrade firmware \(P.A-27\)](#)
- [show call statistics addin \(P.A-28\)](#)
- [show call statistics all \(P.A-29\)](#)
- [show call statistics audio \(P.A-30\)](#)
- [show call statistics video \(P.A-31\)](#)
- [show call status \(P.A-32\)](#)
- [show cert lsc \(P.A-33\)](#)
- [show cert mic \(P.A-34\)](#)
- [show cert web \(P.A-35\)](#)

- [show config all \(P.A-37\)](#)
- [show config phone \(P.A-38\)](#)
- [show config system \(P.A-39\)](#)
- [show hardware all \(P.A-40\)](#)
- [show hardware audio \(P.A-41\)](#)
- [show hardware system \(P.A-42\)](#)
- [show hardware video \(P.A-43\)](#)
- [show inventory \(P.A-44\)](#)
- [show myself \(P.A-45\)](#)
- [show network all \(P.A-46\)](#)
- [show network eth0 \(P.A-48\)](#)
- [show network route \(P.A-49\)](#)
- [show network status \(P.A-50\)](#)
- [show secondary status \(P.A-51\)](#)
- [show security authstring \(P.A-52\)](#)
- [show security info \(P.A-53\)](#)
- [show security trustlist \(P.A-54\)](#)
- [show status \(P.A-56\)](#)
- [show tech network \(P.A-57\)](#)
- [show tech runtime \(P.A-58\)](#)
- [show tech system \(P.A-59\)](#)
- [show timezone config \(P.A-60\)](#)
- [show timezone list \(P.A-61\)](#)
- [show upgrade \(P.A-62\)](#)
- [show version \(P.A-63\)](#)
- [unset upgrade camera \(P.A-64\)](#)
- [unset upgrade disp-driver-1 \(P.A-65\)](#)
- [unset upgrade disp-driver-2 \(P.A-66\)](#)
- [unset upgrade display \(P.A-67\)](#)
- [unset upgrade firmware \(P.A-68\)](#)
- [utils arp delete \(P.A-69\)](#)
- [utils arp list \(P.A-70\)](#)
- [utils arp set \(P.A-71\)](#)
- [utils network host \(P.A-72\)](#)
- [utils network mtr \(P.A-73\)](#)
- [utils network ping \(P.A-74\)](#)
- [utils network tracert \(P.A-75\)](#)
- [utils ntp config \(P.A-76\)](#)
- [utils ntp server add \(P.A-77\)](#)
- [utils ntp server delete \(P.A-78\)](#)
- [utils ntp status \(P.A-79\)](#)
- [utils service list \(P.A-80\)](#)
- [utils service restart \(P.A-81\)](#)

- [utils service start](#) (P.A-82)
- [utils service stop](#) (P.A-83)
- [utils system presentation](#) (P.A-84)
- [utils system reset factory](#) (P.A-85)
- [utils system restart](#) (P.A-86)
- [utils system switch-version](#) (P.A-87)

call answer

call answer

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 着信コールに応答するために使用します。

例 admin:call answer

関連コマンド

コマンド	説明
call end	1 つまたは複数の現在のコールを終了します。
call start	指定したアドレスへのコールを開始します。

call end

call end

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 1 つまたは複数の現在のコールを終了するために使用します。

例 admin:call end

関連コマンド

コマンド	説明
call answer	着信コールに応答します。
call start	指定したアドレスへのコールを開始します。

call start

call start {address}

シンタックスの説明 *address* 電話番号または IP アドレス。

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 指定したアドレスへのコールを開始するために使用します。

例 admin:call start 10.1.1.1

関連コマンド

コマンド	説明
call answer	着信コールに応答します。
call end	1 つまたは複数の現在のコールを終了します。

diag display loopback full disable

diag display loopback full disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 完全診断表示ループバックを終了するために使用します。

例
admin:diag display loopback full disable
Stopping Display Loopback

関連コマンド

コマンド	説明
diag display loopback full enable	完全診断表示ループバックを開始します。
diag display loopback status	完全診断表示ループバックのステータスを提供します。

diag display loopback full enable

diag display loopback full enable *timeout value*

シンタックスの説明	<i>timeout value</i>	ループバックを実行する時間の長さ (秒)。値の範囲は、10 ~ 3600 です (デフォルトは 60)。
------------------	----------------------	--

コマンドモード	Admin コマンド権限レベル : 1
----------------	------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 完全診断表示ループバックを開始するために使用します。このループバックを実行するには、コーリング サービスを停止する必要があります。



(注) 実行が完了したら、コーリング サービスを忘れずに再開してください。

例

```
admin:diag display loopback full enable timeout 60
Loopback is now running
```

関連コマンド	コマンド	説明
	diag display loopback full disable	完全診断表示ループバックを終了します。
	diag display loopback status	完全診断表示ループバックのステータスを提供します。

diag display loopback full status

diag display loopback full status

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 完全診断表示ループバックのステータスを表示するために使用します。

例
admin:diag display loopback full status
Loopback is not running

関連コマンド

コマンド	説明
diag display loopback full disable	完全診断表示ループバックを終了します。
diag display loopback full enable	完全診断表示ループバックを開始します。

set autoanswer disable

set autoanswer disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

着信コールへの応答を自動的に無効にするために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:set autoanswer disable
```

関連コマンド

コマンド	説明
set autoanswer enable	着信コールへの応答を自動的に有効にします。

set autoanswer enable

set autoanswer enable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

着信コールに自動的に応答するために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:set autoanswer enable
```

関連コマンド

コマンド	説明
set autoanswer disable	着信コールへの応答を自動的に無効にします。

set autoanswer external disable

set autoanswer external disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

外部からの着信コールへの応答を自動的に無効にするために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:set autoanswer external disable
```

関連コマンド

コマンド	説明
set autoanswer external enable	外部からの着信コールへの応答を自動的に有効にします。

set autoanswer external enable

set autoanswer external enable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

外部からの着信コールに自動的に応答するために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:set autoanswer external enable
```

関連コマンド

コマンド	説明
set autoanswer external disable	外部からの着信コールへの応答を自動的に無効にします。

set cert web

set cert web

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Web インターフェイス証明書を再生成するために使用します。

例 admin:set cert web

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

set display disable

set display disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

コマンド	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイをオフにするために使用します。

例 admin:set display enable

関連コマンド

コマンド	説明
set display enable	ディスプレイをオンにします。

set display enable

set display enable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイをオンにするために使用します。

例 admin:set display enable

関連コマンド

コマンド	説明
set display disable	ディスプレイをオフにします。

set logging disable

set logging disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン CLI ログに対するログレベルを制御（無効化）するために使用します。

例 admin:set logging disable

関連コマンド

コマンド	説明
set logging enable	現在の管理アカウントに対してロギングを有効にします。

set logging enable

set logging enable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン CLI ログに対するログレベルを制御（有効化）するために使用します。

例 admin:set logging enable

関連コマンド

コマンド	説明
set logging disable	現在の管理アカウントに対してロギングを無効にします。

set output disable

set output disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ベルコア TL1 形式での CLI データの出力を無効にするために使用します。

例 admin:set output disable

関連コマンド

コマンド	説明
set output enable	出力を有効にして、応答をベルコア TL1 形式でエコー出力します。

set output enable

set output enable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

ベルコア TL1 形式での CLI データの出力を有効にするために使用します。このコマンドを使用すると、リモートでの CLI インターフェイスのスクリプト化が容易になります。

例

```
admin:set output enable
```

関連コマンド

コマンド	説明
set output disable	ベルコア TL1 モードを無効にします。

set password admin

set password admin

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

新しい管理パスワードを設定するために使用します。古いパスワードと新しいパスワードの入力を求められます。



(注) パスワードは 6 文字以上にする必要があります。長さがチェックされます。パスワードとして、辞書に載っているような単語を使用するのは避けてください。名前や、自分の名前またはアカウント名を少し変えただけのものを使用しないでください。

このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:set password admin
Please enter the old password :*****
Please enter the new password :*****
re-enter new password to confirm :*****
```

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

set security authstring

set security authstring *numeric_string*

シンタックスの説明	<i>numeric_string</i>	Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) のデバイス設定と一致する数値の認証文字列
------------------	-----------------------	--

コマンドモード	Admin コマンド権限レベル : 4
----------------	------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン CAPF 認証文字列を設定するために使用します。



(注) 認証文字列は、5 桁以上の数値にする必要があります。

例 admin:set security authstring 123456

関連コマンド	コマンド	説明
	なし	

set upgrade camera

set upgrade camera

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン カメラ周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例
admin:set upgrade camera
Setting forced camera upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

set upgrade disp-driver-1

set upgrade disp-driver-1

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例
admin:set upgrade disp-driver-1
Setting forced display driver 1 upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
set upgrade disp-driver-2	ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置のアップグレードを強制的に実行します。

set upgrade disp-driver-2

set upgrade disp-driver-2

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例
admin:set upgrade disp-driver-2
Setting forced display driver 2 upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
set upgrade disp-driver-1	ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置のアップグレードを強制的に実行します。

set upgrade display

set upgrade display

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例
admin:set upgrade display
Setting forced display upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

set upgrade firmware

set upgrade firmware

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ファームウェア周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例
admin:set upgrade firmware
Setting forced firmware upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

show call statistics addin

show call statistics addin [detail | page]

シンタックスの説明	detail	より詳細なコール統計情報を表示します。
	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。

コマンドモード
Admin
コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン
コールのオーディオ アドイン統計情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show call statistics addin
      Call Statistics
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type      : Audio/Video Call      Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec) : 53                    Direction      : Outgoing
Local Number   : 12345                 Remote Number  : 23456
State          : Answered              Bit Rate      : 4000000 bps,1080p

-- Audio Add-in --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386      Dst      : 0.0.0.0:0
Latency  Avg : 1                      Period   : 0

Statistics          Left      Center      Right      Aux
Tx Bytes           0
Tx Packets         0
Rx Bytes           0
Rx Packets         0
Rx Packets Lost   0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show call statistics all	コールのすべての統計情報を取得します。
	show call statistics audio	コールのオーディオ統計情報を取得します。
	show call statistics video	コールのビデオ統計情報を取得します。

show call statistics all

show call statistics all [detail | page]

シンタックスの説明	detail	より詳細なコール統計情報を表示します。
	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。

コマンドモード
Admin
コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン コールのすべての統計情報を取得するために使用します。

例

```

admin:show call statistics all
      Call Statistics
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type      : Audio/Video Call      Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec) : 53                    Direction      : Outgoing
Local Number   : 12345                 Remote Number  : 23456
State          : Answered              Bit Rate      : 4000000 bps,1080p

  -- Audio --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386      Dst      : 11.17.126.42:16384
Latency  Avg : 1                      Period   : 0

Statistics          Left           Center           Right           Aux
Tx Bytes           7655120         7655283         7655114         0
Tx Packets         45839          45840          45840          0
Rx Bytes           7491593         7582158         7467858         0
Rx Packets         45131          45678          44988          0
Rx Packets Lost    45             65             13             0

  -- Video --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386      Dst      : 11.17.126.42:16384
Latency  Avg : 1                      Period   : 0

Statistics          Left           Center           Right           Aux
Tx Bytes           216305260       196115964       288648018       0
Tx Packets         221717          198464          290134          0
Rx Bytes           219270020       223672084       152227219       0
Rx Packets         205040          208662          158232          0
Rx Packets Lost    5069            6798            914             0

  -- Audio Add-in --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386      Dst      : 0.0.0.0:0
Latency  Avg : 1                      Period   : 0

Statistics          Left           Center           Right           Aux
Tx Bytes           0             0             0             0
Tx Packets         0             0             0             0
Rx Bytes           0             0             0             0
Rx Packets         0             0             0             0
Rx Packets Lost    0             0             0             0

```

■ show call statistics audio

関連コマンド	コマンド	説明
	show call statistics addin	コールのオーディオ アドイン統計情報を取得します。
	show call statistics audio	コールのオーディオ統計情報を取得します。
	show call statistics video	コールのビデオ統計情報を取得します。

show call statistics audio

show call statistics audio [detail | page]

シンタックスの説明	オプション	説明
	detail	より詳細なコール統計情報を表示します。
	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。

コマンドモード	権限
Admin	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン コールのオーディオ統計情報を取得するために使用します。

例

```

admin:show call statistics audio
      Call Statistics
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type      : Audio/Video Call      Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec) : 53                    Direction      : Outgoing
Local Number   : 12345                 Remote Number  : 23456
State          : Answered              Bit Rate       : 4000000 bps,1080p

-- Audio --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386      Dst      : 11.17.126.42:16384
Latency  Avg : 1                      Period   : 0

Statistics          Left           Center           Right           Aux
Tx Bytes            7655120        7655283         7655114         0
Tx Packets          45839         45840           45840           0
Rx Bytes            7491593        7582158         7467858         0
Rx Packets          45131         45678           44988           0
Rx Packets Lost     2              3                1                0

```

関連コマンド	コマンド	説明
	show call statistics addin	コールのオーディオ アドイン統計情報を取得します。
	show call statistics all	コールのすべての統計情報を取得します。
	show call statistics video	コールのビデオ統計情報を取得します。

show call statistics video

show call statistics video [detail | page]

シNTAXの説明	detail	より詳細なコール統計情報を表示します。
	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン コールのビデオ統計情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show call statistics video

          Call Statistics
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type              : Audio/Video Call      Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec)        : 49                    Direction       : Outgoing
Local Number          : 12345                 Remote Number   : 23456
State                  : Answered             Bit Rate        : 4000000 bps,1080p

-- Video --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16388      Dst   : 11.17.126.42:16388
Latency  Avg : 0                      Period : 0

Statistics          Left           Center          Right          Aux
Tx Bytes            216305260      196115964      288648018      0
Tx Packets          221717         198464         290134         0
Rx Bytes            219270020      223672084      152227219      0
Rx Packets          205040         208662         158232         0
Rx Packets Lost     5              6              4              0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show call statistics addin	コールのオーディオ アドイン統計情報を取得します。
	show call statistics all	コールのすべての統計情報を取得します。
	show call statistics audio	コールのオーディオ統計情報を取得します。

show call status

show call status

シンタックスの説明 None

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン コールのステータスを取得するために使用します。

例

```
admin:show call status
```

```

Call Status
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type           : Audio/Video Call   Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec)     : 23                  Direction      : Outgoing
Local Number       : 12345                Remote Number  : 23456
State              : Answered            Bit Rate       : 4000000 bps,1080p

```

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

show cert lsc

show cert lsc

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Locally Significant Certificate (LSC; ローカルで有効な証明書) の内容を表示するために使用します。

例 admin:show cert lsc

関連コマンド

コマンド	説明
show cert mic	Manufacturing Installed Certificate (MIC; 製造元でインストールされる証明書) の内容を表示します。
show cert web	Web インターフェイス証明書の内容を表示します。

show cert mic

show cert mic

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 製造元でインストールされる証明書 (MIC) の内容を表示するために使用します。

例 admin:show cert mic

関連コマンド

コマンド	説明
show cert lsc	ローカルで有効な証明書 (LSC) の内容を表示します。
show cert web	Web インターフェイス証明書の内容を表示します。

show cert web

show cert web

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Web インターフェイス証明書の内容を表示するために使用します。

show cert web

例

```

admin:show cert web
Certificate:
  Data:
    Version: 3 (0x2)
    Serial Number: 1 (0x1)
    Signature Algorithm: md5WithRSAEncryption
    Issuer: O=Cisco Systems Inc., OU=TSBU, CN=TelePresence-webadmin
    Validity
      Not Before: Jan  1 00:00:13 2006 GMT
      Not After : Jan  1 00:00:13 2026 GMT
    Subject: O=Cisco Systems Inc., OU=TSBU, CN=TelePresence-webadmin
    Subject Public Key Info:
      Public Key Algorithm: rsaEncryption
      RSA Public Key: (1024 bit)
        Modulus (1024 bit):
          00:97:37:5f:7c:7b:8b:af:5f:a0:5d:b7:4e:0d:37:
          cc:f5:f4:c1:28:4a:5b:13:ba:99:d3:df:c7:53:5d:
          87:10:01:c1:bb:d7:e6:c7:88:bd:dd:d5:2f:b5:08:
          e8:a3:42:6e:1f:3e:50:be:f8:2e:18:8d:1f:c0:0d:
          31:f2:c0:d2:b0:cf:9b:f9:ae:a3:19:80:75:56:df:
          98:9d:c5:3a:b4:65:43:71:33:bc:d3:15:30:10:21:
          d2:f0:d7:5c:00:68:8d:87:f1:35:28:14:e6:13:ae:
          a3:d5:fb:9d:bf:34:7d:a9:c2:cd:94:10:5e:ce:ea:
          86:84:41:ff:e4:ce:d6:77:79
        Exponent: 65537 (0x10001)
      Signature Algorithm: md5WithRSAEncryption
          09:c7:0f:df:fd:df:d0:0b:30:da:60:42:50:cc:4a:4f:f6:a1:
          19:61:3b:a2:9a:b2:5c:1b:ca:f6:80:28:9b:95:f6:12:da:48:
          fa:5e:d9:7a:de:98:1a:7b:b7:79:f7:5b:30:77:ac:d2:65:f7:
          29:40:10:4b:4f:d6:97:04:33:42:ae:17:48:36:cb:4e:b6:5f:
          d7:6b:fc:67:a1:72:2d:a8:c3:cd:44:3a:c8:22:e3:ae:e0:f2:
          05:f4:c8:81:37:73:42:0d:47:0d:9d:43:a1:9f:0a:b3:bb:50:
          00:0a:35:b0:9d:2d:3d:c8:76:69:00:24:9a:42:72:5c:e7:47:
          da:d6
MD5 Fingerprint=4A:60:E5:98:FC:FF:F7:1B:FA:87:21:53:37:65:A1:6F
-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIICDCCAXWgAwIBAgIBATANBgkqhkiG9w0BAQQFADBMMRswGQYDVQQKEExJDaXNj
byBTeXN0ZW1zIEluYy4xDTALBgNVBAsTBFRRTQlUxHjAcBgNVBAMTFVRLbGVQcmVz
ZW5jZS13ZWJhZG1pbjAeFw0wNjAxMDEwMDAwMTNaFw0yNjAxMDEwMDAwMTNaMEwx
GzAZBgNVBAoTEkNpc2NvIFN5c3RlbnR1b3R1b3R1b3R1b3R1b3R1b3R1b3R1b3R1
A1UEAxMVVGVsZVByZXNlbnNlLXdlYmFkbWluMIGfMA0GCSqGSIb3DQEBAQUAA4GN
ADCBiQKBgQCXN198e4uvX6Bdt04NN8z19MEoS1sTupnT38dTXyCQAcG71+bHiL3d
lS+1COijQm4fP1C++C4YjR/ADThywNKwz5v5rqMzGHVW35idxTq0ZUNxM7zTFTAQ
IdLw11wAaI2H8TUoFOYTrqPV+52/NH2pws2UEF706oaEQf/kztZ3eQIDAQBMA0G
CSqGSIb3DQEBAUAA4GBAAnHD9/939ALMnpGQ1DMSk/2oRlh06KaslwybvaAKJuV
9hLaSPpe2XremBp7t3n3WzB3rNJl9ylAEEtP1pcEM0KuF0g2y062X9dr/Gehci2o
w81EOsgI467g8gX0yIE3c0INRw2dQ6GfCrO7UAakNbCdLT3IdmkAJJpCclznR9rW
-----END CERTIFICATE-----

```

関連コマンド

コマンド	説明
show cert lsc	ローカルで有効な証明書 (LSC) の内容を表示します。
show cert mic	製造元でインストールされる証明書 (MIC) の内容を表示します。

show config all

show config all [page]

シンタックスの説明	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	---------------------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	設定情報を取得するために使用します。
-------------------	--------------------

例	<pre>admin:show config all System Config CCM Mode : CCM Model : Cisco TelePresence 1000 Displays : 1 Load Image : SIPTS-1.0.0.1.sbn Time Zone : Pacific SA Daylight Time Conference Room : customer room Phone Config Phone Number : 15019 Phone IP : 10.16.120.217</pre>
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	show config phone	電話機の設定情報を取得します。
	show config system	システムの設定情報を取得します。

show config phone

show config phone [page]

シンタックスの説明	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	---------------------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	電話機の設定情報を取得するために使用します。
-------------------	------------------------

例	admin:show config phone Phone Config Phone Number : 15019 Phone IP : 10.16.120.217
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	show config all	設定情報を取得します。
	show config system	システムの設定情報を取得します。

show config system

show config system [page]

シンタックスの説明	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	---------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	システムの設定情報を取得するために使用します。
-------------------	-------------------------

例	<pre>admin:show config system System Config CCM Mode : CCM Model : Cisco TelePresence 1000 Displays : 1 Load Image : SIPTS-1.0.0.1.sbn Time Zone : Pacific SA Daylight Time Conference Room : customer room</pre>
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	show config all	設定情報を取得します。
	show config phone	電話機の設定情報を取得します。

show hardware all

show hardware all

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべてのハードウェア情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show hardware all
Hardware Version      : 0400
Serial Number         : FSJC0537527
Product ID            : CTS-CODEC-PRIM
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware audio	オーディオ関連のハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware system	システム関連のハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware video	ビデオハードウェア情報をすべて表示します。

show hardware audio

show hardware audio

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン オーディオ関連のハードウェア情報をすべて表示するために使用します。

例

```
admin:show hardware audio
Hardware Version : 4
CPLD Version    : 6
DSP Build ID    : 00.09.000b
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware all	ハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware system	システム関連のハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware video	ビデオハードウェア情報をすべて表示します。

show hardware system

show hardware system

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべてのシステム ハードウェア情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show hardware system
Hardware Version      : 0400
Serial Number         : FSJC0537527
Product ID            : CTS-CODEC-PRIM
...
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware all	ハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware audio	オーディオ関連のハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware video	ビデオハードウェア情報をすべて表示します。

show hardware video

show hardware video

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべてのビデオ ハードウェア情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show hardware video
Camera Brand           : Lumenera/pulsar
Camera Model           : 1.0D
Camera Hardware Version : 2
Camera Firmware Version : 306:521
Camera Firmware Image Date : Wed Sep 13 16:21:16 EST 2006
...
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware all	ハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware audio	オーディオ関連のハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware system	システム関連のハードウェア情報をすべて表示します。

show inventory

show inventory

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン プラットフォーム インベントリ 情報を取得するために使用します。

例 admin:show inventory

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

show myself

show myself

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 現在のアカウントに関する情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show myself
Your account name is      : test
Your privilege level is   : 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

show network all

show network all [detail | page]

シンタックスの説明	detail	より詳細なネットワーク情報を表示します。
	page	出力を一時停止します。

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	基本的なプラットフォーム ネットワーク情報をすべて取得するために使用します。このコマンドは、 show network eth0 コマンドまたは failover コマンド (有効な場合)、 show network route コマンド、および show network status コマンドを連結します。
------------	---

例

```

admin:show network all
Ethernet 0 - Primary
  DHCP      : enabled          Status      : up
  IP Address : 192.168.126.73  IP Mask    : 255.255.254.000
  Link Detected: yes          Mode       : Auto enabled, Full, 1000MB/s
  VLAN      : 198
Ethernet 0
  DHCP      : disable         Status      : up
  IP Address : 192.168.0.1     IP Mask    : 255.255.255.000
  Link Detected: yes          Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
  VLAN      :
Ethernet 0
  DHCP      : disable         Status      : up
  IP Address : 192.168.1.1     IP Mask    : 255.255.255.000
  Link Detected: yes          Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
  VLAN      :
Ethernet 1
  DHCP      : disable         Status      : down
  IP Address :                 IP Mask    :
  Link Detected: yes          Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
  VLAN      :
Ethernet 2
  DHCP      : disable         Status      : up
  IP Address : 192.168.2.1     IP Mask    : 255.255.255.000
  Link Detected: yes          Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
  VLAN      :
Ethernet 3
  DHCP      : disable         Status      : up
  IP Address : 192.168.3.1     IP Mask    : 255.255.255.000
  Link Detected: yes          Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
  VLAN      :
DNS
  Primary   : 171.68.226.120   Secondary  : 171.70.168.183
  Options   : timeout:5 attempts:2
  Domain    : cisco.com
  Gateway   : 10.16.126.1 on Ethernet eth0.198
192.168.3.0/24 dev eth3 proto kernel scope link src 192.168.3.1
192.168.2.0/24 dev eth2 proto kernel scope link src 192.168.2.1
192.168.1.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 192.168.1.1
192.168.0.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 192.168.0.1
10.16.126.0/23 dev eth0.198 proto kernel scope link src 10.16.126.73
default via 10.16.126.1 dev eth0.198
Active Internet connections (w/o servers)
Proto Recv-Q Send-Q Local Address          Foreign Address         State
tcp        0      0 localhost:57818        localhost:TSCCA_Ctrl    TIME_WAIT
tcp        0      0 localhost:57819        localhost:TSCCA_Ctrl    TIME_WAIT
...
tcp        0      0 ts1cam2net.local:41788 ts4.local:ssh           TIME_WAIT
Active UNIX domain sockets (w/o servers)
Proto RefCnt Flags      Type           State          I-Node Path
unix    2      [ ]          DGRAM          3760          /tmp/secCmdSock
...
unix    2      [ ]          DGRAM          1494

```

関連コマンド

コマンド	説明
show network eth0	イーサネット 0 に関する基本的なプラットフォーム ネットワーク情報の一部を取得します。
show network route	基本的なプラットフォーム ネットワーク ルート情報の一部を取得します。
show network status	基本的なプラットフォーム ネットワーク ステータス情報の一部を取得します。

show network eth0

show network eth0 [detail]

シンタックスの説明	detail	イーサネット ポート 0 に関する詳細なネットワーク情報を表示します。
------------------	--------	-------------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	イーサネット ポート 0 に関する基本的なプラットフォーム ネットワーク情報を取得するために使用します。
-------------------	--

例	<pre>admin:show network eth0 Ethernet 0 DHCP : no Status : UP IP Address : 128.107.140.8 IP Mask : 255.255.255.000 Link Detected: yes Mode : Auto off, Full, 100MB/s DNS Primary : 171.70.168.183 Secondary : Domain : cisco.com Gateway : 128.107.140.1 on Ethernet 0</pre>
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	show network all	基本的なプラットフォーム ネットワーク情報をすべて取得します。
	show network route	基本的なプラットフォーム ネットワーク ルート情報の一部を取得します。
	show network status	基本的なプラットフォーム ネットワーク ステータス情報の一部を取得します。

show network route

show network route [detail]

シンタックスの説明	detail	詳細なネットワーク ルート情報を表示します。
------------------	--------	------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	基本的なプラットフォーム ネットワーク ルート情報の一部を取得するために使用します。
-------------------	--

例	<pre>admin:show network route 10.94.150.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 10.94.150.94 169.254.0.0/16 dev eth0 scope link default via 10.94.150.1 dev eth0</pre>
----------	--

フェールオーバー (NFT) が有効の場合の例 :

```
admin:show network route
10.94.150.0/24 dev bond0 proto kernel scope link src 10.94.150.98
10.94.150.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 10.94.150.98
10.94.150.0/24 dev eth1 proto kernel scope link src 10.94.150.98
169.254.0.0/16 dev bond0 scope link
default via 10.94.150.1 dev bond0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show network all	基本的なプラットフォーム ネットワーク情報をすべて取得します。
	show network eth0	イーサネット 0 に関する基本的なプラットフォーム ネットワーク情報の一部を取得します。
	show network status	基本的なプラットフォーム ネットワーク ステータス情報の一部を取得します。

show network status

show network status [detail | listen | process | all | nodns | search *text*]

シンタックスの説明		
detail		追加のステータス情報を表示します。
listen		リスニング ソケットだけを表示します。
process		各ソケットが属するプログラムのプロセス ID と名前を表示します。
all		リスニング ソケットと非リスニング ソケットの両方を表示します。
nodns		数値アドレスを DNS 情報なしで表示します。
search <i>text</i>		出力内の <i>text</i> 文字列を検索します。

コマンド モード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

基本的なプラットフォーム ネットワーク ステータス情報の一部を取得するために使用します。



(注) search オプションに続けてテキスト文字列を指定する必要があります。この文字列には、スペースまたはタブを含めることはできません。大文字と小文字は区別されます。

例

```
admin:show network status
Active Internet connections (w/o servers)
Proto Recv-Q Send-Q Local Address           Foreign Address         State
tcp      0      0 vvl-rush.cisco.com:40266 vvl-rush.cisco:vv1_rush_ccm
ESTABLISHED
tcp      0      0 localhost:32824         localhost:8001
ESTABLISHED
:
:
```

Example with text string:

```
admin:show network status search cisco.com
tcp      0      0 vvl-rush.cisco.com:38775 vvl-rush.cisco:vv1_rush_ccm
ESTABLISHED
tcp      0      0 vvl-rush.cisco.com:ssh   philly.cisco.com:48528
ESTABLISHED
tcp      0      0 vvl-rush.cisco.com:46993 vvl-rush.cisco.com:32812   TIME_WAIT
:
:
```

関連コマンド

コマンド	説明
show network all	基本的なプラットフォーム ネットワーク情報をすべて取得します。
show network eth0	イーサネット 0 に関する基本的なプラットフォーム ネットワーク情報の一部を取得します。
show network route	基本的なプラットフォーム ネットワーク ルート情報の一部を取得します。

show secondary status

show secondary status

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン セカンダリ コードックのステータスを取得するために使用します。

例

```
admin:show secondary status
testing left...
    secondary is still booting

testing right...
    secondary is up
```

関連コマンド

コマンド	説明
show status	基本的なプラットフォーム ステータス情報を取得します。

show security authstring

show security authstring

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン CAPF 認証文字列を表示するために使用します。

例
admin:show security authstring
123456

関連コマンド

コマンド	説明
show security info	セキュリティ情報を表示します。
show security trust list	セキュリティ信頼リストを表示します。

show security info

show security info [page]

シンタックスの説明	page	セキュリティ情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	----------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	セキュリティ情報を表示するために使用します。
-------------------	------------------------

例	<pre>admin:show security info security information ===== version : 1.0 [Apr 30 2007, 14:05:07] MIC : yes LSC : NO device sec mode : 1 (auth) num CTL entries : 4 timers in use : 0 timers sockets in use : 3 sockets clnt SSL in use : 0 clnt SSL active reqs. : 0 reqs. info o/p on : none debug o/p on : none verbose o/p on : none</pre>
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	show security authstring	CAPF 認証文字列を表示します。
	show security trust list	セキュリティ信頼リストを表示します。

show security trustlist

show security trustlist [page]

シンタックスの説明	page	セキュリティ情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	----------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	セキュリティ信頼リストを表示するために使用します。
-------------------	---------------------------

例

```

admin:show security trustlist
ctl info
=====
  ctl file (if any)      : /nv/security/ctl/CTLFile.tlv
  hash of CTL (16 bytes):
  max allowed entries   : 32
  max allowed entries   : 32
  num current entries   : 4
  CTS has CTL
  CTL table entries:
  CTL-tbl [0]
    role: 0 (SAST)
    ip  : n/a
    dns :
    sub : cn="SAST-ADN418e4e14          ";ou=IPCBU;o="Cisco Systems
    iss : cn=CAP-RTP-001;o=Cisco Systems
    ser : available, 10 bytes
    pkey: available, 140 bytes
    sig : n/a
    hash: n/a
    cert: available, 933 bytes
  CTL-tbl [1]
    role: 0 (SAST)
    ip  : n/a
    dns :
    sub : cn="SAST-ADN47ece814          ";ou=IPCBU;o="Cisco Systems
    iss : cn=CAP-RTP-002;o=Cisco Systems
    ser : available, 10 bytes
    pkey: available, 140 bytes
    sig : n/a
    hash: n/a
    cert: available, 907 bytes
  CTL-tbl [2]
    role: 2 (CCM_TFTP)
    ip  : 171.28.176.239
    dns : test-cm5-10
    sub : cn=test-cm5-10.cisco.com
    iss : cn=test-cm5-10.cisco.com
    ser : available, 8 bytes
    pkey: available, 140 bytes
    sig : n/a
    hash: n/a
    cert: available, 578 bytes
  CTL-tbl [3]
    role: 4 (CAPF)
    ip  : 171.28.176.239
    dns : test-cm5-10
    sub : cn=CAPF-45131e4a;o=cisco
    iss : cn=CAPF-45131e4a;o=cisco
    ser : available, 8 bytes
    pkey: available, 140 bytes
    sig : n/a
    hash: n/a
    cert: available, 626 bytes

```

関連コマンド

コマンド	説明
show security authstring	CAPF 認証文字列を表示します。
show security info	セキュリティ情報を表示します。

show status

show status

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

基本的なプラットフォーム ステータス情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show status
Host Name      : testsys
Date           : Thu Jun 24, 2004 12:55:01
Time Zone      : PDT
Locale         : en_US.UTF-8
Product Ver    : 5.0.1.14-2
Platform Ver   : 2.0.0.0-1

Resources
CPU             Idle: 100.00%   System: 00.00%   User: 00.00%

                Total           Free           Used
Memory          254984K        72964K         182020K
Disk/active     3020140K      1580608K      1286116K (45%)
Disk/inactive   3020172K      2833924K       32828K (2%)
Disk/logging    11290072K     10017808K     698748K (7%)
```

関連コマンド

コマンド	説明
show secondary status	セカンダリ コードブックのステータスを取得します。

show tech network

show tech network [page]

シンタックスの説明	page	ネットワーク情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	----------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	マシンのネットワークに関する側面を表示するために使用します。
-------------------	--------------------------------

例	admin:show tech network
----------	-------------------------

関連コマンド	コマンド	説明
	show tech runtime	マシンのランタイムに関する側面を表示します。
	show tech system	マシンのシステムに関する側面を表示します。

show tech runtime

show tech runtime [page]

シンタックスの説明	page	ランタイム情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	---------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	マシンのランタイムに関する側面を表示するために使用します。
-------------------	-------------------------------

例	admin:show tech network
----------	-------------------------

関連コマンド	コマンド	説明
	show tech network	マシンのネットワークに関する側面を表示します。
	show tech system	マシンのシステムに関する側面を表示します。

show tech system

show tech system [page]

シンタックスの説明	page	システム情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	--------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	マシンのシステムに関する側面を表示するために使用します。
-------------------	------------------------------

例	admin:show tech system
----------	------------------------

関連コマンド	コマンド	説明
	show tech network	マシンのネットワークに関する側面を表示します。
	show tech runtime	マシンのランタイムに関する側面を表示します。

show timezone config

show timezone config

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

現在の時間帯設定をロング形式で表示するために使用します。

例

```
admin:show timezone config
Current timezone: (GMT+10:00) Canberra, Melbourne, Sydney
```

関連コマンド

コマンド	説明
set timezone list	使用可能なすべての時間帯をロング形式でリストします。

show timezone list

show timezone list [page]

シンタックスの説明	page	システム情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	--------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	使用可能なすべての時間帯をロング形式で一覧するために使用します。
-------------------	----------------------------------

例	<pre>admin:show timezone list (GMT-12:00) Eniwetok, Kwajalein (GMT-11:00) Midway Island, Samoa (GMT-10:00) Hawaii : : (GMT+12:00) Auckland, Wellington (GMT+13:00) Nuku\x27alofa Current timezone: (GMT+10:00) Canberra, Melbourne, Sydney</pre>
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	show timezone config	現在の時間帯設定をロング形式で表示します。

show upgrade

show upgrade [detail]

シンタックスの説明	detail	アップグレードに関する詳細な情報を表示します。
------------------	--------	-------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	アップグレードのステータスを表示するために使用します。
-------------------	-----------------------------

例	<pre>admin:show upgrade There are no peripherals being upgrade at this time left sub system... There are no peripherals being upgrade at this time right sub system... There are no peripherals being upgrade at this time</pre>
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	なし	

show version

show version

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システム上のソフトウェアのバージョン番号を取得するために使用します。現在ブートされているバージョンの横にアスタリスクが示されます。

例

```
admin:show version
Slot0 = SIPTS 1.0.0.201
*Slot1 = SIPTS 1.0.2.101
Slot2 = SIPTS 1.0.1.045
```

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

unset upgrade camera

unset upgrade camera

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン カメラ周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例
admin:unset upgrade camera
Unsetting forced camera upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

unset upgrade disp-driver-1

unset upgrade disp-driver-1

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例
admin:unset upgrade disp-driver-1
Unsetting forced display driver 1 upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
unset upgrade disp-driver-2	ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade display	ディスプレイ周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade firmware	ファームウェア周辺装置の強制アップグレードをクリアします。

unset upgrade disp-driver-2

unset upgrade disp-driver-2

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例
admin:unset upgrade disp-driver-2
Unsetting forced display driver 2 upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
unset upgrade disp-driver-1	ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade display	ディスプレイ周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade firmware	ファームウェア周辺装置の強制アップグレードをクリアします。

unset upgrade display

unset upgrade display

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ 周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例
admin:unset upgrade display
Unsetting forced display upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
unset upgrade disp-driver-1	ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade disp-driver-2	ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade firmware	ファームウェア周辺装置の強制アップグレードをクリアします。

unset upgrade firmware

unset upgrade firmware

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ファームウェア周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例
admin:unset upgrade firmware
Unsetting forced firmware upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
unset upgrade disp-driver-1	ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade disp-driver-2	ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade display	ディスプレイ周辺装置の強制アップグレードをクリアします。

utils arp delete

utils network arp delete *host*

シンタックスの説明	<i>host</i>	削除するホストの名前またはドット付き IP アドレス。
------------------	-------------	-----------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	アドレス解決プロトコル テーブル内のエントリを削除するために使用します。
-------------------	--------------------------------------

例	admin: utils network arp delete myhost
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	utils arp list	アドレス解決プロトコル テーブルの内容を一覧します。
	utils arp set	アドレス解決プロトコル テーブルにエントリを設定します。

utils arp list

utils network arp list [*host hostname*][*numeric*]

シンタックスの説明	host hostname	特定のホスト (host) を一覧することを指定し、そのホストのホスト名 (hostname) を指定します。
	numeric	ホストをドット付き IP アドレスとして表示します。

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン アドレス解決プロトコル テーブルの内容を一覧するために使用します。オプション キーワードの *numeric* を選択した場合、ホスト名はドット付き IP アドレスとして表示されます。

Flags カラムの表示は次のとおりです。

- C : キャッシュ済み
- M : 永続
- P : 公開済み

例

```
admin: utils network arp list
Address          HWtype  HWaddress      Flags Mask    Iface
sjc21-3f-hsrp.cisco.com ether    00:00:0C:07:AC:71  C          eth0
philly.cisco.com ether    00:D0:B7:85:98:8E  C          eth0
Entries: 2      Skipped: 0      Found: 2
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils arp delete	アドレス解決プロトコル テーブルのエントリを削除します。
	utils arp set	アドレス解決プロトコル テーブルにエントリを設定します。

utils arp set

`utils network arp set host addr`

シンタックスの説明	<i>host</i>	追加するホストの名前またはドット付き IP アドレス。
	<i>addr</i>	追加するホストのハードウェア アドレス (MAC)。 形式は XX:XX:XX:XX:XX:XX です。

コマンド モード Admin
コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン アドレス解決プロトコル テーブルにエントリを設定するために使用します。

例 admin: utils network arp set myhost 11:22:33:44:55:66

関連コマンド	コマンド	説明
	utils arp delete	アドレス解決プロトコル テーブルのエントリを削除します。
	utils arp list	アドレス解決プロトコル テーブルの内容を一覧します。

utils network host

utils network host *name* [*server*]

シンタックスの説明

<i>name</i>	解決するホストの名前またはアドレス。
<i>server</i>	使用する代替ネーム サーバの名前。

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

ホスト名をアドレスに、またはアドレスをホスト名に解決するために使用します。

例

```
admin:utils network host cisco.com
Local Resolution:
Nothing found

External Resolution:
cisco.com resolves to 198.133.219.25
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils network mtr	リモート宛先方向のすべてのノードに ping を実行します。
utils network ping	1 つ以上の ping パケットをリモート宛先に送信します。
utils network tracert	リモート宛先への IP パケットをトレースします。

utils network mtr

`utils network mtr dest [count] [tos] [options]`

シンタックスの説明

<i>dest</i>	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。
<i>count</i>	システムが送信する ping の数を定義します。デフォルトの数は 43200 (12 時間) です。
<i>tos</i>	TOS フィールドの値。TOS フィールドの値の範囲は、0 ~ 255 です。デフォルトは 0 です。
<i>options</i>	ホスト名を数値として表示します。



(注)

時間はすべてミリ秒単位です。

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

リモート宛先方向のすべてのノードに ping を実行するために使用します。

例

```
admin:utils network mtr 162.28.176.130
Host - tos=0x00 count=5
0 10.16.126.2          6.2    6.2    6.0    6.3
1 161.71.240.145     5.5    5.7    5.4    6.2
2 161.71.241.54      6.7    6.6    6.0    7.7
3 161.71.241.161     6.1    6.2    5.8    7.3
4 162.24.114.58      6.2    6.5    6.2    7.2
5 162.28.173.26      8.4    8.4    8.3    8.6
6 162.28.176.130     6.6    5.8    3.8    6.6
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>utils network host</code>	ホスト名をアドレスに、またはアドレスをホスト名に解決します。
<code>utils network ping</code>	1 つ以上の ping パケットをリモート宛先に送信します。
<code>utils network tracer</code>	リモート宛先への IP パケットをトレースします。

utils network ping

utils network ping *dest* [*count*]

シンタックスの説明

<i>dest</i>	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。
<i>count</i>	カウントの値。デフォルト値は 2 です。

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

1 つ以上の ping パケットをリモート宛先に送信するために使用します。

例

```
admin:utils network ping www.cisco.com count 5
PING www.cisco.com (198.133.219.25) from 172.22.119.166 : 56(84) bytes of data.
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=1 ttl=246 time=0.837 ms
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=2 ttl=246 time=0.962 ms
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=3 ttl=246 time=1.04 ms
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=4 ttl=246 time=0.635 ms
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=5 ttl=246 time=0.666 ms
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils network host	ホスト名をアドレスに、またはアドレスをホスト名に解決します。
utils network mtr	リモート宛先方向のすべてのノードに ping を実行します。
utils network tracer	リモート宛先への IP パケットをトレースします。

utils network tracer

コマンド構文

utils network tracer *dest*

シンタックスの説明	<i>dest</i>
	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	リモート宛先への IP パケットをトレースするために使用します。
------------	----------------------------------

例	<pre>admin:utils network tracer 172.24.115.101 traceroute to 172.24.115.101 (172.24.115.101), 30 hops max, 38 byte packets 1 vns-gateway1-119 (172.22.119.1) 0.599 ms 0.439 ms 0.381 ms 2 172.24.115.189 (172.24.115.189) 0.358 ms 0.242 ms 0.231 ms 3 sjc20-lab-gw2 (172.24.115.101) 0.347 ms * 0.514 ms</pre>
---	---

関連コマンド	コマンド	説明
	utils network host	ホスト名をアドレスに、またはアドレスをホスト名に解決します。
	utils network mtr	リモート宛先方向のすべてのノードに ping を実行します。
	utils network ping	1 つ以上の ping パケットをリモート宛先に送信します。

utils ntp config

utils ntp config

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン このマシン上の NTP クライアントとサーバの現在の設定を表示するために使用します。

例

```
admin:utils ntp config
servers (this machine is a NTP client):
  171.68.10.150      ntp-sj1.cisco.com
clients (this machine is a NTP server):
  client 192.107.140.50      ntp-test.cisco.com
  range  192.107.141.0      255.255.255.0
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils ntp server add	新しい NTP サーバを追加します。
utils ntp server delete	既存の NTP サーバを削除します。
utils ntp status	アプライアンスにおける NTP クライアントの現在のステータスを表示します。

utils ntp server add

`utils ntp server add address`

シンタックスの説明	<code>address</code>	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。
------------------	----------------------	-----------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 新しい NTP サーバを追加するために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (CUCM) を使用していない場合 (非 CUCM モード) にのみ使用可能です。

例

```
admin:utils ntp server add 64.104.193.13
Adding the server 64.104.193.13
A restart of the call services has been requested. If you are in a call,
the request will be executed at the end of the call
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>utils ntp config</code>	このマシン上の NTP クライアントとサーバの現在の設定を表示します。
	<code>utils ntp server delete</code>	既存の NTP サーバを削除します。
	<code>utils ntp status</code>	アプライアンスにおける NTP クライアントの現在のステータスを表示します。

utils ntp server delete

`utils ntp server delete address`

シンタックスの説明	<i>address</i>	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。
------------------	----------------	-----------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 既存の NTP サーバを削除するために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:utils ntp server delete 64.104.193.13
Deleting the server 64.104.193.13
A restart of the call services has been requested. If you are in a call,
the request will be executed at the end of the call
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils ntp config	このマシン上の NTP クライアントとサーバの現在の設定を表示します。
	utils ntp server add	新しい NTP サーバを追加します。
	utils ntp status	アプライアンスにおける NTP クライアントの現在のステータスを表示します。

utils ntp status

utils ntp status

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン アプライアンスにおける NTP クライアントの現在のステータスを表示するために使用します。

例 次の例は、NTP クライアントの同期外れを示しています。

```
admin:utils ntp status
ntpd (pid 10561) is running...
  remote          refid          st t when poll reach  delay  offset  jitter
=====
ntp-sjl.cisco.c .GPS.             1 u   3   64   1   5.885  -0.091  0.008

unsynchronised
  time server re-starting
  polling server every 16 s

current time is : Mon Jan 31 12:01:38 PST 2005

example for in sync:
ntpd (pid 10561) is running...
  remote          refid          st t when poll reach  delay  offset  jitter
=====
*ntp-sjl.cisco.c .GPS.             1 u   2   64   77   5.865   0.554  0.057

synchronised to NTP server (171.68.10.150) at stratum 2
  time correct to within 188 ms
  polling server every 64 s

current time is : Mon Jan 31 12:14:35 PST 2005
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils ntp config	このマシン上の NTP クライアントとサーバの現在の設定を表示します。
utils ntp server add	新しい NTP サーバを追加します。
utils ntp server delete	既存の NTP サーバを削除します。

utils service list

utils service list [*service*]

シンタックスの説明	<i>service</i>	特定のサービスを選択するために使用します。
------------------	----------------	-----------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	すべてのサービス ステータスを取得するために使用します。
-------------------	------------------------------

例	admin:utils service list
	<pre> Service State ----- - System_Log [Running] Appl_Log [Running] DHCP_Srvr [Running] </pre>

関連コマンド	コマンド	説明
	utils service restart	サービスを再開します。
	utils service start	サービスを開始します。
	utils service stop	サービスを停止します。

utils service restart

コマンド構文

utils service restart *service*

シンタックスの説明

service 再開するサービスを指定します。

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

サービスを再開するために使用します。

例

```
admin:utils service restart System_Log
System_Log Restarting...done
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils service list	すべてのサービス ステータスを取得します。
utils service start	サービスを開始します。
utils service stop	サービスを停止します。

utils service start

utils service start *service*

シンタックスの説明	service	開始するサービスを指定します。
------------------	---------	-----------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	サービスを開始するために使用します。
-------------------	--------------------

例	admin:utils service start System_Log System_Log Starting...done
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	utils service list	すべてのサービス ステータスを取得します。
	utils service restart	サービスを再開します。
	utils service stop	サービスを停止します。

utils service stop

`utils service stop service`

シンタックスの説明	<code>service</code>	停止するサービスを指定します。
------------------	----------------------	-----------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	サービスを停止するために使用します。
-------------------	--------------------

例	<pre>admin:utils service stop System_log System_Log Stopping...done</pre>
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>utils service list</code>	すべてのサービス ステータスを取得します。
	<code>utils service restart</code>	サービスを再開します。
	<code>utils service start</code>	サービスを開始します。

utils system presentation

utils system presentation

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

システムのプレゼンテーション デバイスにアクセスするために使用します (プレゼンテーション デバイスが存在する場合)。

例

次の例は、プレゼンテーション デバイスが存在しないことを示しています。

```
admin:utils system presentation
The unit is not present
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils system reset factory	システムをリセットし、工場出荷時のデフォルト設定で実行します。
utils system restart	システムを再起動します。
utils system switch-version	システムにインストールされている別のロードに切り替えます。

utils system reset factory

utils system reset factory

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

システムをリセットし、工場出荷時のデフォルト設定で実行するために使用します。

例

```
admin:utils system reset factory
Are you sure you want to set the system back to the factory defaults ?
This will cause a system restart !
Enter "yes" to reset to factory defaults and restart or any other key to abort
continue: yes
The factory reset is now in progress - this will take a few moments...

The system is going down for restart NOW!
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils system presentation	システムのプレゼンテーション ユニットへのアクセスを許可します (プレゼンテーション ユニットが存在する場合)。
utils system restart	システムを再起動します。
utils system switch-version	システムにインストールされている別のロードに切り替えます。

utils system restart

utils system restart [force | wait]

シンタックスの説明	force	wait
	強制的に再起動します。	コール中の場合に、コールの終了時に再起動するようにスケジュールを設定します。

コマンド モード Admin
 コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システムを再起動するために使用します。システムがコール中の場合、そのコールの終了時に再起動を実行します。すぐに再起動するために、force オプションを使用してこの設定を無効にすることができます。



(注) 他の任意のキーを押すと、再起動の手順が中断され、次のメッセージが表示されます。
 The restart has been aborted.

例

```
admin:utils system restart
  Are you sure you want to restart the system ?
  Enter "yes" to restart or any other key to abort
  continue: yes

The system is going down for restart NOW!
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils system presentation	システムの左ユニットへのアクセスを許可します (左ユニットが存在する場合)。
	utils system reset factory	システムをリセットし、工場出荷時のデフォルト設定で実行します。
	utils system switch-version	システムにインストールされている別のロードに切り替えます。

utils system switch-version

utils system switch-version [force | factory [1 | 2]]

シンタックスの説明

force	切り替えを強制的に実行します。
factory	工場出荷時のロードに切り替えます。
1	スロット 1 ロードに切り替えます (現在のロードが工場出荷時のロードである場合)。
2	スロット 2 ロードに切り替えます (現在のロードが工場出荷時のロードである場合)。

コマンド モード

Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

システムにインストールされている別のロードに切り替えるために使用します。システムがコール中の場合、そのコールの終了時に再起動が実行されます。すぐに切り替えるには、**force** オプションを使用します。



(注) 他の任意のキーを押すと、アプライアンスのバージョン切り替えの手順は中断され、次のメッセージが表示されます。

```
The system switch has been aborted.
```

このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:utils system switch-version
Are you sure you want to switch the system, this will cause a system restart ?
Enter "yes" to switch and restart or any other key to abort
continue: yes
Setting to slot 1 load ...

The system is going down for restart NOW!
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils system presentation	システムの左ユニットへのアクセスを許可します (左ユニットが存在する場合)。
utils system reset factory	システムをリセットし、工場出荷時のデフォルト設定で実行します。
utils system restart	システムを再起動します。

■ `utils system switch-version`